

土木



房総をつなぐ

東京都と神奈川県よりも広い“千葉県”。
ひと・モノの流れをスムーズにするため、
広域道路ネットワークを整備しています。



世界とつながる

海の玄関“国際拠点港湾・千葉港”。
世界との懸け橋の整備を進めています。



土木のしごとで 県民のくらしを 支えていく。

海をこえる

三方を海に囲まれた千葉県。
半島性克服のため、
東京湾アクアラインを活用した
県土づくりを進めています。



将来にそなえる

平成23(2011)年3月11日。
千葉県にも多くの被害がありました。
いのちを守る堤防などを整備しています。



まちを創る

未来に向けて、
心地よく暮らせる
新たなまちを創っています。



くらしをまもる

ある日、突然起きる自然災害。
様々な災害から、
県民のみなさんのくらしを守っています。



半島性の克服

成田国際空港や、千葉港を発着
する人・モノの流れの円滑化、県内
外の交流や連携、防災力の強化を
図るため、圏央道、北千葉道路な
どの広域的な幹線道路ネットワ
ークの整備を進めています。

世界の玄関口の整備

生活と産業を支える重要な社
会資本である港湾。
大型船舶に対応した岸壁の整
備やふ頭再編、官民一体となっ
た戦略的なポートセールスを行
います。

人と環境にやさしいまちづくり

柏・流山地域では、つくばエクス
プレス沿線と一体となった秩序ある住宅
地の形成を図るとともに、木更津地域
では、東京湾アクアライン着岸地に位
置する広域交通利便性の極めて高い
立地条件を生かしたまちづくりなど、
土地区画整理事業を進めています。

「防災県」の確立

気候変動の影響による台風・豪
雨の激甚化・頻発化に対応するた
め、道路・河川・海岸施設など、災
害に強い社会資本の整備や、水位
計及び水位観測カメラなどによる
情報提供を行い、被害の最小化に
努めます。

農業



主な勤務地は、本庁、県内10か所の
農業事務所、県内各地で試験研究を行う
農林総合研究センターなどです。

農業職の仕事の内容は、**行政・普及・試験研究**に大きく分類されます。

農林総合研究センター新本館



行政

生産者団体と連携し
た産地振興や農林水産
物のPR、次世代を担う人材の育成・
確保などの企画・立案を行います。



量販店における千葉県フェア

普及

県内各地域において、高度
な技術・知識を有する普及指
導員として直接農業者に生産技術や農業
経営改善の指導などを行います。経験豊富
な農業者に的確な指導をするため、研修や
先輩からアドバイスを
受けながら、普及指導員
としての知識と経験を深めていき
ます。



なしの安定収穫のために枝の剪定方法を
講習会で指導している様子

試験研究

消費者ニーズに
適した新品種の育
成や生産性を高める栽培方式、環境にや
さしい農業技術の開発などに取り組ん
でいます。令和2年3月に農林総合研究
センター新本館が開設されました。



育成した日本なし新品種「秋満月(あきみつき)」